

編集後記

チケットの売れ残りなど事前の盛り上がりを欠いた平昌（ピョンチャン）冬季オリンピックでしたが、いざ蓋を開けてみると、選手たちの熱い戦いにより世界中に興奮と感動をもたらしました。日本選手団も金4個を含む過去最多の13個のメダル獲得の大活躍でした。そう言えば、前回のソチ冬季五輪、そしてリオデジャネイロ夏季五輪の時も、施設整備の遅れなど、事前には開催が危ぶまれていましたが、ひとたび開幕すると主役である選手たちの躍動により、息を吹き込まれたかのように活気を呈しました。スポーツの持つ「力」をあらためて思い知らされます。

ところで、今回の平昌五輪では、韓国と北朝鮮の交流が大きな話題となりました。北朝鮮の政府高官が大会を訪れ、お馴染みとなった女性応援団も大挙乗り込みました。開会式では南北の選手団が統一旗を掲げ一緒に入場行進し、女子アイスホッケーでは合同チームが結成されました。さらに驚くべきことに、大会後に南北政府間の交渉が急速に進展し、南北首脳会談どころか米朝首脳会談まで実現しそうな勢いです。

スポーツの政治利用という諍りもあり、このまま順調に事が運ぶかは未知数ですが、ともかくこれまで緊迫した硬直状態だったのが前に動き出したのは事実です。これもオリンピックというスポーツイベントが契機となっており、やはりそこにスポーツの持つ大きな「力」を感じます。

2017年2月号の本欄でも紹介しましたが、河野一郎先生（JOC理事）は、講演の中で、スポーツは健康増進やエンタテインメントのみならず、教育・政策・外交等の分野においても価値を発揮し、ひいては「貧困や差別の解消」や「平和」さえをももたらす「力」を持っていると強調されています。また、ネルソン・マンデラ氏は、「スポーツには、世界を変える力があります。人種の壁を取り除くことにかけては、政府もかないません。スポーツには、それまで絶望でしかなかったものに、希望をもたらし力があります」と述べています。

朝鮮半島問題に限らず、世界のいたるところに火種が燦々している現代ですが、2年後に迫った東京オリンピック・パラリンピックでは、スポーツの持つ特有の「力」で世界の「平和」と人類の「幸福」に寄与する何かが生み出されることを祈りたいと思います。

今月号のPersonal Viewは、早稲田大学スポーツ科学学術院の金岡恒治教授による「オリンピックから学んだこと」です。患者の身体的機能不全を注意深く診ることと、運動療法の重要性を強調しておられます。また、篠田達明先生の連載「医療史回り舞台」のテーマは、「明治初期に導入されたスケート靴」です。羽生結弦選手の故障との関いにも触れておられます。奇しくも両方ともオリンピックにまつわるエピソードとなりましたが、いずれも時宜を得た示唆に富む名文です。ぜひご一読ください。（山下敏彦）

「整形・災害外科」第61巻 第6号（5月号） 2018年5月1日発行（毎月1回1日発行） 定価（本体2,500円＋税） 年間購読料金 定価（本体39,400円＋税） 〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165〔編集室直通〕 TEL 03 (3811) 7184〔営業部直通〕 FAX 03 (3813) 0288 http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600
--	---

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、二次的著作物の利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969、FAX 03-3513-6979、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。